

タンチョウの翼で日中両国を繋ぐ 日中定期便就航 50 周年記念事業を実施します

～北海道標茶高校と中国黒龍江省の高校を ZOOM で繋ぎタンチョウ保護について考えます～

JAL はタンチョウや生物多様性保全への理解を深め、社会・地域への貢献活動に取り組んでいます。このたび、2024 年に日中定期便が就航 50 周年を迎えたことを機に、JAL の企業ロゴのモチーフであるタンチョウを通じた日中両国の ZOOM 交流会を実施します。この交流会では、タンチョウが生息する釧路湿原に近い北海道標茶高校と、国家自然保護区を持つ中国黒龍江省チチハル市の高校生がオンライン交流をはかり、タンチョウや故郷の話題について語り合うことにより、両地域青少年の相互理解を推進します。



【JAL のタンチョウ保護の取り組み】



【タンチョウイメージ】

記

【概要】

1. 実施日程: 2024 年 12 月 19 日(木)
2. 場 所: 北海道標茶高等学校 (ZOOM でのオンライン形式)
3. 時 間: 15:30～16:30 (日本時間)
4. 参 加 者: チチハル市民政府外事弁公室責任者、黒龍江省の高校生、北海道標茶高校生、
両校関係者、JAL 関係者
5. 内 容: ・黒龍江省と北海道との関係、チチハル市のタンチョウの状況についての紹介
・JAL のタンチョウ保護の取り組みについての紹介 など

JAL は、このタンチョウを通じた交流活動を継続することで、日中両国の友好関係をさらに深め、社会に貢献してまいります。